

令和4年度健康・体力づくり推進フォーラム開会あいさつ

保健体育課長 富澤 桂子

皆さま、こんにちは。県教育委員会保健体育課長の富澤でございます。本日は、学校行事等お忙しい中、ご参加いただき、厚くお礼申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の状況は、感染者が減少してきているとはいえ、まだまだ本県においても多くの人が罹患している状況があります。そのような状況が続く中での開催ですので、本フォーラムの参加は、参集とオンラインのハイブリッド方式で行います。令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、オンデマンドでの開催でしたので、本日はハイブリッドとはいえ、対面での開催は3年ぶりとなります。

本フォーラムは、基調講演や分科会により、子ども達の健康・体力づくりの取組を共有するとともに、各学校等における取組について協議し、運動習慣の確立や生活習慣の改善とともに、体力・運動能力の向上につなげることを目的に開催するものでございます。そのため、県内各地より幼稚園、小学校、中学校、高等学校・中等教育学校の先生方、そして各市町村教育委員会、教育事務所の指導主事等の皆様と、幼児から、高校生までの子どもの教育に携わる、多くの皆様にご参加いただいております。

本日の全体会の基調講演は、子どもの体力について様々な課題がある本県の状況を踏まえ、国土館大学 文学部 教育学科 教授であります、細越 淳二先生に、「子どもの体力向上・運動習慣の定着・生活習慣の改善のための要点と方法を考える」、サブタイトルに～“小さじ一杯の工夫”を大切に～と題して、ご講演をいただきます。基調講演後の分科会においては、幼稚園・小学校、中学校、高等学校と3つに分かれて行います。健康・体力づくり実践研究校として2年間、研究をしていただきました、「川崎市立新町小学校」「小田原市立国府津中学校」「県立海洋科学高等学校」の3校より、それぞれの実践研究発表会を行います。3校におかれましては、率先して研究に取り組んでいただき、感謝申し上げます。子どもたちの、運動習慣の二極化が指摘される中、子どもたちが楽しいと感じながら、体を動かすことは、運動習慣の形成にとって、とても大切な機会です。

本日の基調講演で有意義な情報を得るとともに、分科会では、活発な協議をしていただき、得た情報をそれぞれの学校で生かしていただきたいと思います。本日のフォーラムが皆様にとって、有意義な時間となるよう、積極的なご参加をお願いしまして、私のあいさつとさせていただきます。